

# さらなる工法普及、発展を

## 広島県コンクリートメンテナンส์協会

広島県コンクリートメンテナンส์協会（徳納剛）

会長は17日、広島市中区で第23回となる通常総

会を開いた。総会では、

現在全国16都市で開催中

の技術講習会「コンクリ

ート構造物の補修・補強

に関するフォーラム」な

どを中心に協会が推奨す

る工法の普及を図り、会

員の受注機会に繋げるこ

となどを申し合わせた。

総会には、会員17社中

14社が出席した。徳納会

長（福徳技研）は、あい

さつの中で亜硝酸リチウ

ムを用いた工法の開発経

緯に触れつつ、「最初は

失敗を重ねる中で段々と

失敗しない工法を確立

し、今では誰も否定でき

なくなつた」と強調。「発

注者やコンサルからの理

解もかなり深まり、20

18年には経済産業省の

中国地域ニュービジネス

大賞に選ばれるなど既に

畑はできている。これか

ら一緒に耕して種をま

き、営業や勉強会等も通

じてさらなる発展を図っ

ていければ」と述べた。

議事では、18年度事業

報告や収支決算書承認、

19年度事業計画案並びに

収支予算案などを審議

し、滞りなく承認。

今年度も、工法普及に

よつて会員の受注拡大を

図るとともに、発注官

庁・コンサルとの勉強会

を継続的に実施する。そ

のほか、工法の普及や会

員の親睦に関する活動を

積極的に推進することな

ども確認した。

### 総会のもよう

